

(社) 日本原子力学会  
第49回倫理委員会議事要旨

日 時 H22. 3. 26 (金) 14:30~16:40  
場 所 茨城大学共通教育棟 2号館 34 講義室  
出席者 北村、大場、班目、小川 (敬)、小澤、久保田、作田、杉本、弘津、宮越、三好  
(11名)  
平野、中野、北村 (俊) (傍聴者)

配布資料

- 資料 49-1 第48回倫理委員会議事要旨 (案)
- 資料 49-2 日本原子力学会春の大会・倫理委員会セッション開催要領・配布資料
- 資料 49-3 報告：福井工業大学にて開催の倫理研究会および講演会開催について
- 資料 49-4 倫理委員会規程 (案) ほか

議事

1. 班目幹事が本日の委員会をもって退任することの紹介があり了承した。これに伴い、北村委員長は作田委員を次の幹事に指名し、了承された。なお、杉本委員に幹事のサポートの要請があった。
2. 資料 49-1 により前回議事要旨を確認した。関連して、北陸電力での意見交換会の実施時期は先方の都合で決めることとし、引き続き大場副委員長が担当することを確認した。なお、研究会とするかどうかは今後検討することとした。ほかに 10 周年記念事業を早めに計画していくことを申し合わせた。
3. 資料 49-2 により三好委員より 2010 年春の年会の企画セッション実施結果の紹介があった。会場が入りにくいためか参加者はやや少なめであったが、内容は好評であった旨が報告された。引き続き学会誌への報告を三好委員、杉本委員で作成するほか、もう少し詳しい報告をホームページに掲載することとした。なお、今後は全内容を録音するなど記録の充実を心掛けることとした。
4. 大場副委員長より資料 49-3 を用いて 1 月 20 日開催の福井工業大学での倫理研究会・講演会の報告があった。低学年の学生からも活発な発言があるなど参加者全員が積極的に議論に加わる有意義な会合となったことが紹介された。今後、他の大学から申し込みがあった場合の対応方針などをあらかじめ決めるべく、検討することとした。
5. 班目幹事と久保田委員より資料 49-4 の倫理委員会規程が理事会で承認されたことの報告があった。学会全体の規程類見直しは新法人への移行時期に合わせて行われることになったが、その際必要があればさらに改定することとし、本日付でこの倫理委員会規程を現行の原子力学会細則のもとで施行することを確認した。また、この規程に合わせて資料 49-4 の運営内規とメール審議内規も本日付で制定、施行することとした。なお、委員定

員に特別委員は含まれないことを明確化するため運営内規案の一部を修正した。

6. 本日の傍聴者である平野、中野両氏を倫理委員会委員に加えるべく、理事会に推薦することとした。

7. 今期に実施する研究会と学会開催時の企画セッションのテーマに関する意見交換を行った。ケースブックの発行が今年9月を目指していることから、今年と来年の秋の研究会は学生と社会人がともに参加するケーススタディを予定することとした。また、早急に決める必要のある今年9月の秋の大会企画セッションは、中越沖地震時の発電所関係者の献身的努力に焦点を合わせ、関係者の体験談やそれを読んだ学生等の感想などを中心に、倫理的行動を支える使命感について考えることとした。10周年記念事業は講演会や歴代委員からの寄稿を含む文集、規程改訂の経緯の整理などを企画することとした。ほかに、規制と倫理、米国等の安全文化・倫理の捉え方、産業構造と倫理、海外進出と倫理、コンプライアンスと倫理の関係、不正摘発のあり方、上からの押し付けとならない倫理要綱等のあり方、現場を動かす倫理施策のあり方、原子力学会活動と倫理などのテーマの提案があった。原子力学会活動と倫理というテーマは、理事会活動や各種委員会活動が会員への説明責任を十分果たしているか、不満を吸い上げ改善する仕組みができていないかを問うものであるが、実施にあたっては該当組織との共催とすべきとの注意があった。実施テーマについてはさらに検討を続けることとし、主担当者を次のように決定した。

平成22年7月	研究会	大場
平成22年9月(北大)	企画セッション	小川・弘津
平成22年11月	研究会	作田
平成23年3月(福井大)	企画セッション	中野・矢野
平成23年7月	研究会	三好
平成23年9月(小倉)	企画セッション	辻
平成23年11月	研究会	平野
平成23年度	10周年記念事業	大場

8. 次回は5月中旬に開催することとし、日時・場所は後日決定することとした。